

科目	ゼミナールⅡ(P)	担当	高崎 義幸	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

本ゼミでは、知多半島で展開されているグリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズム、海業といった地場産業と観光産業を組合せた観光まちづくりが、どのように生成し、展開しており、さらにいかなる政策的支援が必要なのか、といった課題について調査研究する。実際に現場に足を運び、参与・非参与観察やインタビュー等の調査を行う。

ゼミではグループワークや発表・討論を中心に行う。そのため、ゼミ生には十分な準備と積極的な参加が要求される。ゼミの活動を通じて、聴く、話す、調べる、整理する力を養う。

ゼミナールⅡでは、ゼミナールⅠで学んだ理論や技法をもとに、卒業研究のテーマ、研究課題、仮説の設定を行うことを目標とする。

【履修注意】

ゼミは学生主体で運営されるため、欠席は原則認められない。欠席回数が5回に達した時点で単位を認めない。

日常的に調査(文献・資料調査、聞き取り調査、アンケート調査、観察)に出かけることが多くなるので、クラブ・サークル活動やアルバイトとの両立が要求される。

【評価方法】

出席状況、プレゼンテーション、議論などを総合的に評価する。

【試験について】

定期試験の代わりに理解度確認テスト、レポートを課す。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。ゼミ内で指示された課題へ取り組むこと。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

白谷秀一ほか(2002)「実践はじめての社会調査—テーマ選びから報告まで」自治体研究社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミの方針、計画の確認
2	研究成果(夏季休暇の宿題)の発表	知多半島のフードツーリズムに関する調査研究発表
3	研究成果(夏季休暇の宿題)の発表	知多半島のフードツーリズムに関する調査研究発表
4	研究成果(夏季休暇の宿題)の発表	知多半島のフードツーリズムに関する調査研究発表
5	研究成果(夏季休暇の宿題)の発表	知多半島のフードツーリズムに関する調査研究発表
6	研究成果(夏季休暇の宿題)の発表	知多半島のフードツーリズムに関する調査研究発表
7	研究テーマの設定	先輩たちの卒論レビュー
8	研究テーマの設定	先輩たちの卒論レビュー
9	研究テーマの設定	先輩たちの卒論レビュー
10	卒論題目検討	テーマ、研究課題、仮説の設定
11	卒論題目検討	テーマ、研究課題、仮説の設定
12	卒論研究計画作成	接近方法の抽出
13	卒論研究計画作成	接近方法の抽出
14	プレゼンテーション	研究計画の発表①
15	プレゼンテーション	研究計画の発表②
16	総まとめ	総まとめ